

東日本大震災 災害支援活動に参加して

オレゴン留学経験のご縁で、オレゴン州ポートランドに本拠地がある、アメリカの災害支援団体、Mercy Corpsの東日本大震災への協力活動への協力依頼が3月末日届きました。その内容は、Mercy Corpsと日本の国際協力団体、ピースウィンズジャパンと被災地の子供たち・家族への心のケアを目的とした共同プログラムへの参加協力という内容でした。自分に果たしてできることだろうか、と考えたのですが、このような大災害で突然大切な人を失った人たち、中には、遺体と対面できずにお別れとなってしまった人たち、また、生活の突然の変化に大きな喪失感を抱える方たち、さまざまなニーズがあふれる中で、私のできることがあれば、ということでお引き受けすることになった。これまで在宅ホスピスのソーシャルワーカーとして、そして当講座の相談サロンでは患者さま、ご家族、そしてご遺族への支援を大切にこれまで活動しておりましたので、その経験が少しでも活かせたらと、謙虚な思いで活動に参加していく決意です。心のケアは病気の治療と違い目に見えない痛みと向き合うために、時間がかかることが予想されます。活動も長いスパンで支援できるよう、現在は計画を立て、ニーズアセスメントをしている段階です。本活動に当たり、島本学長、山蔭教授をはじめ、大学の皆さまには大きな心で理解をいただき、活動に対する支援を受けられていることを大変感謝しております。

4月2日～4月5日、活動参加第一週目の様子です



奥の工場から流れ出た機材が道路にあふれていました



避難所内のいくつかのお部屋が保育所になっています



避難所の中は情報や物が整理されている様子でした

